

未承認薬を治験対象とする場合の考え方(改訂案)

医療上特に必要性が高いと認められるもの

考え方

適応疾病の重篤性と医療上の有用性とを総合的に評価して選定

(1) 適応疾病の重篤性

以下に分類

生命に重大な影響がある疾患(致死的な疾患)

病気の進行が不可逆的で、日常生活に著しい影響を及ぼす疾患 等

(2) 医療上の有用性

既存の治療法・予防法がない

欧米の臨床試験において有効性・安全性等が既存の治療法・予防法と比べて明らかに優れている

欧米において標準的治療法に位置付けられている 等